

社会福祉法人 星のくま（星のホームあいの）

2026（令和8）年度 地域連携推進会議議事録

日 時：2026（令和8）年9月15日（火）
9：51～10：50

場 所：共同生活援助「星のホームあいの」

出席者：＜委 員＞入居者

入居者のご家族

自治会役員

民生児童委員

他法人相談支援事業所管理者

行政担当者 各1名（計6名）

＜事務局＞管理者（理事長）

サービス管理責任者

法人事務局長 各1名（計3名）

内 容 等

1. 開会

2. 管理者（理事長）挨拶

グループホームのフランチャイズ化に伴う不正受給や虐待案件が取り沙汰されており、閉鎖的になりがちとされるグループホームの健全な運営に向けて努力するとの決意表明を含む。

3. 自己紹介

前年度から一部の委員（行政担当者）が変更となった為、全員の自己紹介を実施。

4. 事業所見学

サービス管理責任者からの説明を行いながら、居室・洗面所・浴室・トイレ・事務所（調理スペース）等の見学を実施。

5. 議事における意見・質問等

※事務局（主にサービス管理責任者）から「星のホーム概況（入退所状況・職員研修等）」
「地域交流状況（清掃活動等）」「避難訓練状況」「権利擁護に関する報告（事故報告・ヒヤリハット・相談事例を含む）」の説明が行われた後に意見交換を実施。

Q : 前年度は法人の祭り（フェスタ）に参加させてもらったが、今年はそのような催しはないか？（民生委員）

A : 今年度は法人全体での実施予定なし。2年に1回くらいの頻度での実施を予定している。

報告：大雨時に敷地内自販機設置場所前の市道から敷地に若干水が入ることが、過去13年間で数回あった。自治会長からもグループホームの上に住宅がたくさん建設されるようになり、数年前から行政に陳情していただいていた。今回、行政が溜枳からの追加側溝工事を行ったことで改善されたと考えている。（最近大雨が降っていない為確認はできていない）

報告：将来的には敷地内にグループホームを1棟増設することも考えている。その場合は感染症対策の観点からトイレや洗面所の共用の問題を検討しなければと思っている。

Q : グループホーム設置に関する総量規制の話は出ていないか？

A : 現在のところそのような情報はない。（行政担当者）

A : 相談支援から見た状況としては、親の高齢化によるグループホームのニーズは高まっている。介護施設への移行も多く、事業所数の過不足の判断はむずかしい。宿直者が配置されているグループホームの空きがなく、利用調整が困難な状況にある。（他法人相談支援管理者）

意見：利用者のみんなが楽しく過ごせることが一番大切であるとする。（利用者代表）

意見：地元地域への啓蒙活動を行い、施設（グループホーム）のことを地域の方にもっと知ってもらう様に務めた方が良い。（自治会役員）

意見：地域包括支援センターと民生委員・事業所の連携を図っていくことが必要。（民生委員）

Q : 民生委員の会議の頻度は？

A : 月に1回の定例会を実施している。参加を希望する場合は事前に事務局に相談してもらいたい。（民生委員）

6. その他

将来的な考え方から、外国人の雇用を決め、年明けくらいからの採用を予定している旨の連絡があった。

7. 閉会

以上